

●群馬県から卒論作成のために 11 月 2 日（日）里山の会の活動を調査に来所



育英大学教育学部教育学科 児童教育専攻幼児教育コース 4 年生の竹田 柊(たけだ しゅう)さんの日程は前橋駅を出発して京都周山で取材を終えて京田辺に到着、かなりの道のりをバスなどを利用してこられました。里山の会結成のきっかけは？イベントでの一番の喜びは？等の的確な質問がされ、応答しました。そしていま取り組んでいる課題は、木津川でのイタセンパラの復元を目指していること、またヤマトサンショウウオの維持保全調査活動、竹蛇籠や中聖牛製作設置、松かさツリーや竹エンピツ制作を説明しました。そして会誌 57・58 号とイタセンパラのパンフ

そして竹エンピツを送りました。この取材は 2 時間弱でした。

中沢君が京田辺市の文化祭出店参加されているお手伝いの傍ら事務所にこられて立会参加していただきました。

●幹部研修会の日程が固まってきました。

里山の会を 8 時に出発して岐阜市の木曽川上流事務所で長良川でのイタセンパラの取組の説明、午後から各務原市鵜沼での NP0 森林救援隊の皆さんとの作業現場の視察と交流会、そして時間が許せば国宝犬山城の見学を予定しています。21 日は朝一番に世界最大といわれている淡水魚水族館を見学し、近くの岐阜県自然共生研究センターで職員さんから研究のガイドを頂き、時間があれば隣接の水産研究センターにも回り、午後には岐阜羽島駅前のイーエスピー企画の社長さんからお話をお願いしています。参加予定を①播川 ②野村 ③有田 ④山村 ⑤竹門 ⑥木下 ⑦福井 ⑧遠山 ⑨小林慧人(現地合流)です。木下様は 20 日京都府庁での NP0 団体の交流会への出席の予定が入ってきたとのことで、一人減少の見通しです。

●木津川希少種植生調査管理業務の冬季除草作業 2 日目を実施 順調にハンマーモアが作動 作業進む

ハンマーモア 1 号機を購入したのは木津川マラソンの駐車場確保のために 2006 年頃でした。面積は 200m 幅 50m あり、刈幅 90cm ですから、すごく長距離になり歩行が大変でしたので、孟宗竹で座椅子を載せたソリを引かせました。刈り取った草が飛散しない夜露はあるが明ける頃から作業を行いました。そして里山農園の開発では最初は生け花用ハサミでしのぶ竹などを刈り取りましたが、能率が上がらず肩掛け式草刈り機の購入をしました。しかし人力ではとても太刀打ちが出来ず、自走式草刈り機・ハンマーモアを田辺農協で紹介いただきました。1m 前進するとバックする地道な作業を繰り返して、幅を少しずつ広げる根気のいる作業の繰り返しで時間がかかりました。ところが刈り取った雑草などは小さく短く粉碎してくれるので非常に能率がよく大変うれしくなって農園開拓に役立ちました。その後購入した 2 号機 3 号機もキャタピラ式なので推進力も強く悪条件の湿地や水溜まりにも強く威力を発揮してくれています。



●木津川希少種植生調査管理業務の除草作業進捗の状況は 6 カ所（1, 29~31, 34, 35）が除草されました。

同志社大学サッカー部がボランティア活動として毎年 12 月に延べ約 50 人近くの学生さんが集草作業の手伝いに力をお貸しくださってきました。今年も応援すると連絡をいただきましたので、来所予定の 12 月初旬にまでに 35 ヶ所 16,000 m²の除草作業の完了を目指しています。集草作業が

軽く出来るように枯れ乾燥させられるよう早くやり遂げたいと頑張っています。11月は自治会への応援や幹部研修会、竹蛇籠製作講習会のイベントと里山農園の定期作業が目白押しです。除草作業は水曜日の事務局会議の午後と、木曜日のパソコン教室の午後に予定をしています。時間がある皆さんのご協力をお願いいたします。また土曜日の9時から午前中は里山農園の定期作業ですが、ご参集いただいた皆さんにお願いして木津川希少種生調査管理業務の除草作業をお願いしてみてもと前理事長の大村さんから提案をいただきました。大変うれしいことです。ぜひ大勢の皆さんのご協力をお願いいたします。そして日曜日もお手伝い(草刈りとり)を是非お願いいたします。

作業内容は自走式ハンマーナイフモアで刈り取りますから、ハンドルを握って直線に進行させる役割です。しっかり歩行ができれば進行スピードは調節可能ですので、体力が必要ではありません。少しの練習で操作は簡単に飲み込めますので、ぜひ一度応援にお越しください。

●会誌1号から58号までの総目録の読み取りが完了しました。

今年7月末の昆虫観察会を振り返りの中で、2026年が結成30周年なのでという話題の中で会誌「里山の自然」は誇れる作品なので、これの総目録を作成してはどうかとの提案がありました。今まで発刊した58号までの会誌の全てを読み切らなければならないとても実現できない作業量だから、どなたからもお手伝いをするという積極的な返事はなかったのですが、8月下旬に時間が十分あるからと手を付けて始めてみることにしました。そして10月中旬に58冊の目次を読み取り、打ち込みが完了しました。そして調査で確認した植物や動物名がカタカナで記入されていたので比較的に選び出しやすく全てを拾い出し、打ち込みを完了できたのが11月5日でした。

まだこれから整理するなど進め形を少しずつ整えなければなりません、読みとり打ち込みという最初の最も困難と予想した作業は出来上がったのです。その作業の中で欠落していた4冊(17・38・40・45号)も金田さんが所蔵されていたところから選り出して、全冊が里山の会に揃えられました。貴重な提供に心からお礼を申し上げます。



会誌「里山の自然」総目録広い上げ ページ数 進捗状況																	
号数	項目数	頁数	号数	項目数	頁数	号数	項目数	頁数	号数	項目数	頁数	号数	項目数	頁数	号数	項目数	頁数
1	1060	28	11	393	16	21	89	3	31	256	8	41	63	2	51	63	2
2	935	25	12	95	6	22	399	10	32	173	5	42	16	1	52	13	1
3	1285	36	13	995	41	23	36	1	33	313	8	43	105	5	53	44	2
4	1217	70	14	424	21	24	423	11	34	160	4	44	2	2	54	13	1
5	1648	40	15	324	9	25	239	6	35	83	5	45	19	1	55	75	2
6	155	4	16	99	3	26	48	2	36	74	3	46	63	1	56	51	2
7	1386	42	17	136	4	27	148	11	37	20	1	47	16	2	57	103	3
8	142	4	18	90	3	28	26	1	38	22	1	48	105	3	58	50	2
9	1274	31	19	495	13	29	221	6	39	111	4	49	2	2			
10	72	10	20	73	2	30	224	6	40	50	2	50	19	1			
	9174	290		3124	118		1853	57		1262	41		410	20		412	15

この表から皆さんは何を読みとれるでしょうか

●竹蛇籠製作講習会を開催いたします。11月8日(土)

9月の京都植物園での製作講習会では目標にしていた半分しか製作できませんでした。そのため8日(土)、22日(土)では必要数量6本(7m)を作り上げたいと思っています。5日現在一般の方からお二人の参加届がありました。力を合わせて作りましょう。

右の写真は10月21日NHK(Eテレ)で全国に放映された里山の会が玉水浜に設置した竹蛇籠です。ご覧になっていただけましたでしょうか。



写真は2020年に設置した8mの竹蛇籠3本。